

## 第四回海外移住「論文」及び「エッセイ・評論」募集結果 講評

今回は論文5編とエッセイ・評論17編の応募があり、特にエッセイ・評論部門への学生や若い世代の応募が増えました。

論文については残念ながら、最優秀賞、優秀賞ともに該当作品なしということになりました。

エッセイ・評論では多様な世代、立場の方から、さまざまな視点からの興味が尽きない作品を応募していただくことができました。

### <エッセイ・評論の部>

中野咲希氏の「あたたかな生活」は、大学での講義を通じて学んだ移住史をきっかけに、具体的な素材を取り上げ、若者らしく移住者観を率直に描いている内容が高く評価され最優秀賞となりました。

小林かおり氏の「定住型日系ブラジル人と日本の地域社会－豊田市での多文化共生の交流を通して－」は、海外移住資料館の資料などを利用し、多文化共生推進への示唆となる点が評価され優秀賞となりました。

同じく優秀賞として、鈴木修治氏の「ヤマヨモギ繁る荒野 クロスオーバーする記憶」は、『ユタ日報』という邦字紙を取り上げ、あまり知られていない史実を伝えている内容が評価されました。

以上の他に、ブラジルで生まれ育ったため、日本語が母語ではないため日本語は完璧とは言えないが、作品で描かれている筆者の経験がグローバル化した現代社会における日本人の生き方に示唆するものがあると評価された浅海荘吾氏の「日本の移民者」が佳作となりました。